

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

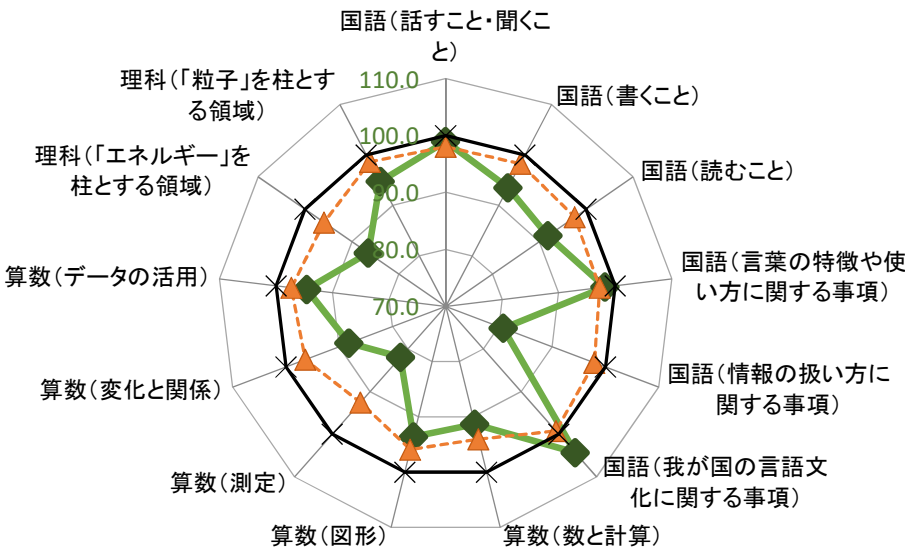
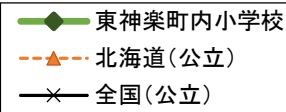
- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

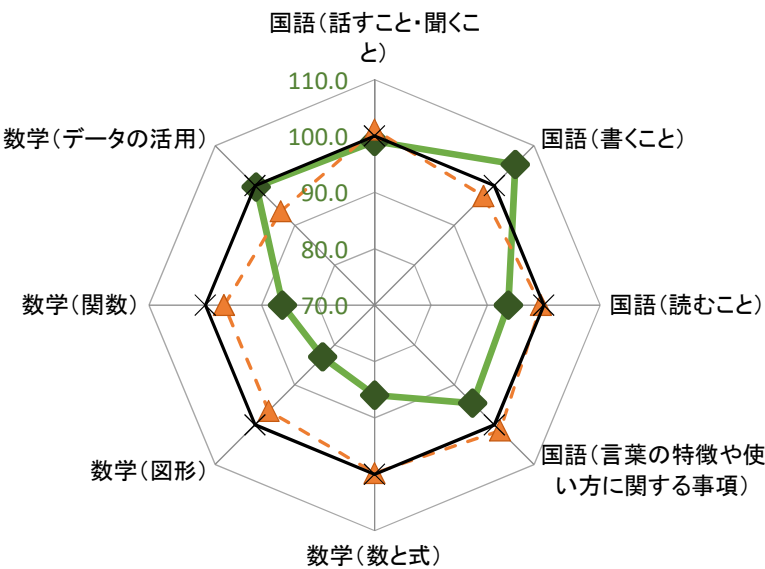
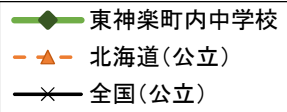
※中学校理科は平均IRTスコア

	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
東神楽町	64	54	53	54	43	507
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503

小学校



中学校

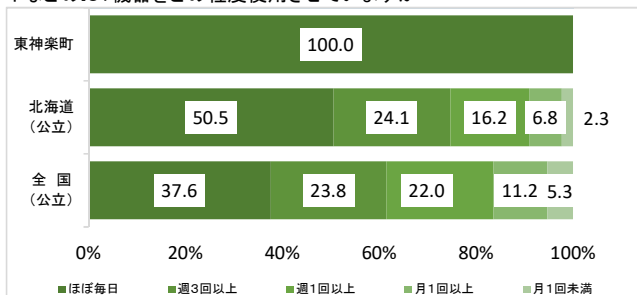


○ 質問調査の状況

小学校

<学校質問>

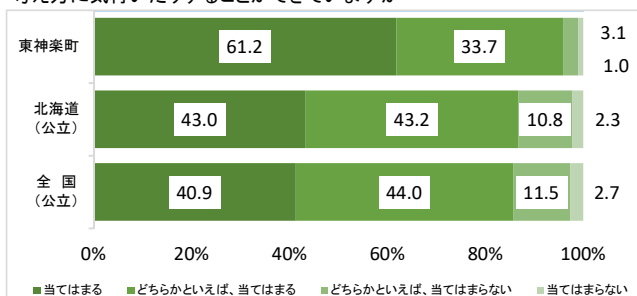
児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



小学校

<児童質問>

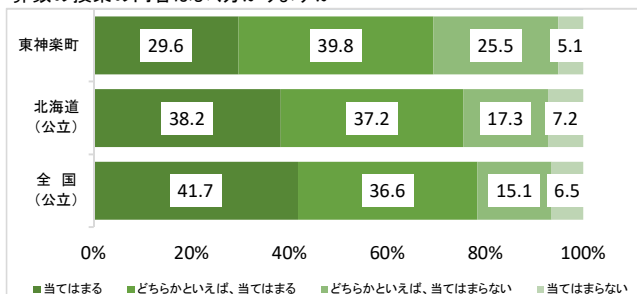
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



小学校

<児童質問>

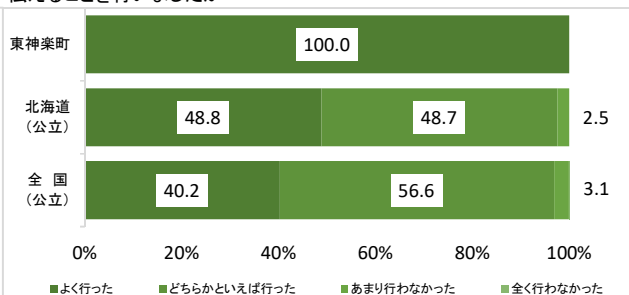
算数の授業の内容はよく分かりますか



中学校

<学校質問>

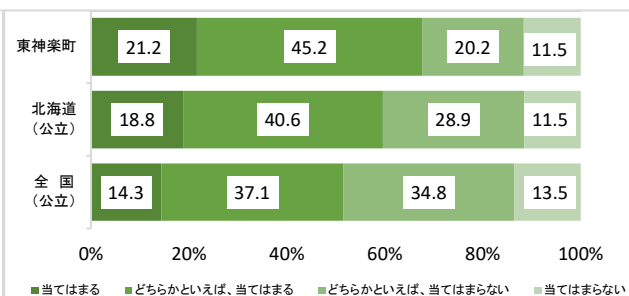
国語の授業で、学習状況に即して生徒のよい点や進歩の状況を積極的に伝えるを行いましたか



中学校

<生徒質問>

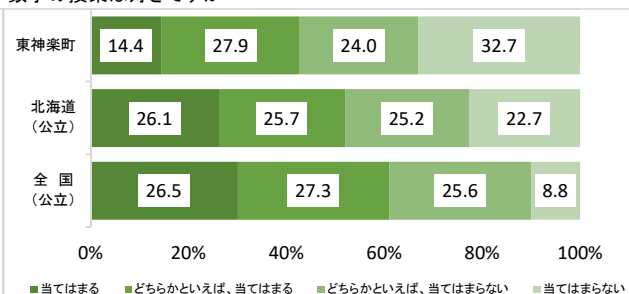
国語の勉強は得意ですか



中学校

<生徒質問>

数学の授業は好きですか



○ 調査結果の分析

- 小学校において、児童同士がやりとりする場面で、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用したことにより、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

- 中学校において、国語の授業で学習状況に即して生徒のよい点や進歩の状況を積極的に伝えたことにより、国語の勉強は得意と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

- 小学校算数及び中学校数学の平均正答率が全国及び全道を下回っている状況は、算数の授業の内容はよく分かれると回答した児童の割合及び数学の授業が好きと回答した生徒の割合が全国及び全道を下回っていることが、要因の一つとして考えられる。

○ 今後の改善方策

- 東神楽町小中一貫イノベーションプログラム、小中一貫教育推進委員会による9年間を見据えた教育の充実に向けた取組の推進

- 生徒指導の機能を生かした「誰もが認められ、自己決定ができる」授業の推進
- 各学校の状況や規模に応じた少人数指導、ICTの活用等による、個に応じた指導の充実